令和５年度　６月朝礼校長講話

令和５年６月１日

皆さんおはようございます。今日から６月。衣替えです。着こなしセミナーで勉強しましたが、制服は様々な情報やイメージを発信しています。発信しているということは、それを受け取る側がいます。受け取る側が君たち一人一人に良い印象を持つよう制服を正しく着こなしてください。

さて、今日は「時は金なり」について話をします。この言葉の由来は「Time is money」です。どちらの言葉も聞いたことがあると思います。この言葉を残した人は「ベンジャミン・フランクリン」という人で、アメリカ合衆国における建国の父とも呼ばれ、１００ドル紙幣に印刷されている人です。

このベンジャミン・フランクリンが１７４８年に若者に向けて言った言葉が「Time is money」で、本来の意味は「朝起きてから、何もしないでダラダラしていると、その日に稼げるはずだった機会を損失し、その分の賃金が喪失する」という意味です。

例えば、時給 1,000 円のバイトを７時間やれば 7,000 円儲けることができますが、それを休んで遊びに 1,000 円使った時の損失は、バイトに行かなかったことによる 7,000 円の損失を含めると 8,000 円損していることになる。「時は金なり」とはこの機会損失のことを言っているのですが、今では、「時間はお金と同様に貴重なものだから、決して無駄にしてはいけない」という使われ方をしています。いずれにしても、時間を無駄に使ってはいけないということに変わりはありません。

最近の新入社員研修では、「時間厳守」ということを教えるのに、「時間を守らないと、相手の貴重な時間と貴重な財産を奪うことになる」と教えているそうです。「時間厳守は当たり前」の一言では新入社員には理解されないようです。今の若者は何でも理由が必要なんですね。「赤信号は止まれ」のように、世の中には「ダメなものはダメ」ということがある事を理解してください。

前振りが長くなりました。本題に入ります。三郷北高校『これだけは守ろう』には、「正当な理由なく遅刻した者は、その日の放課後に担任・副担任からの指導を受け、翌朝８時３０分までに登校し、担任と顔合わせ」と書いてあります。遅刻すると、担任と副担任の先生の貴重

な時間を、貴重な財産を奪うことになります。１日に遅刻者が複数いた場合は、何倍もの時間と財産が奪われます。遅刻をしても誰にも迷惑をかけていないということはありません。

本校の重点目標は自己管理能力の育成です。自己管理能力を身につけてください。ついでに、「予測する」ということも覚えてください。中間考査の初日、雨が降りました。武蔵野線が遅延しました。８時３５分過ぎに、職員玄関に立っていると、チャイムが鳴っているにもかかわらず、急ぐ様子もなく十数人の生徒が学校に向かって歩いていました。

「電車の遅延だから正当な理由」とでも言いたいのでしょうが、雨が降ったら電車は遅れるということを予測してください。武蔵野線はちょっとしたことで遅延するということを学習してください。ほとんどの生徒は遅刻せずに登校しています。５分、１０分の電車の遅延が「正当な理由」というのはレベルが低いと思います。

３年生に質問します。就職試験や入学試験当日の朝、朝起きて一番最初にすることは何ですか？答えは、公共交通機関が正常に動いているか確認することです。覚えておいてください。

最後になりますが、４月の遅刻者数調べの結果を伝えます。学校全体で７４人の生徒で１３０回遅刻をしています。一番遅刻者数が多かったのは２年生です。１年生の４．３倍、３年生の１．５倍。２年生は「中だるみの学年」と言われますが、４月から「中だるみ」が始まっているようでは今後が心配です。

２年生は「中だるみの学年」と言われる分、努力をすれば努力が報われます。３年生になると、今まで勉強しなかった生徒が勉強するようになるので成績を上げるのは難しくなります。２年生の今がチャンスです。２年生の今後に期待します。

遅刻者がゼロのクラスがありました。５月の遅刻者数調べが楽しみです。遅刻防止は学校全体で取り組むと言いましたので、遅刻者数調べは毎月行います。状況によっては対策を考えます。

ちなみに、５月の公開授業での保護者アンケートで、保護者が学校の指導に求めていることの１位が「各教科の基礎学力を伸ばす」、２位が「社会のマナーやルールを教える」。そして３位が自己管理能力の育成でした。学校の取組と保護者の要求は一致しています。自己管理能力を高めてください。以上です。